

令和3年度 当別町における新型コロナウイルス緊急支援対策

支援事業名	概 要	担当課	決算額(円)	臨時交付金充当額	効果検証
プレミアム付商品券発行事業	消費喚起策として、全世帯を対象として町内で使用できるプレミアム付商品券を発行した。 (1冊5,000円で販売、1世帯4冊まで。プレミア率50%) 〇7,683世帯×プレミア分2,500円×4冊 = 76,830千円 + 事務費	産業振興課	84,231,503	51,312,260	町民の家計負担を軽減するとともに、町内の消費喚起に寄与した。
中小企業コロナウイルス対策支援事業	町内中小企業(小売・飲食・宿泊・サービス業)が、コロナ対策を講じるための備品整備や情報発信を行う広告宣伝の経費を一部補助した。 補助件数:58件	産業振興課	3,047,609	3,047,609	コロナ対策を講じるための備品整備や情報発信を行う広告宣伝の経費を一部補助することで、町内事業者の事業継続に寄与した。
水道料金減免事業 (事業者支援)	感染症の影響を受けている町内全事業者の固定費への支援として、水道料金のうち基本料金と水量料金の1割を1年間減免を行った。 〇減免額:(基本料金+水量料金の1割)×12か月 延べ5,199件 月平均433件(参考:事業者数月平均 330事業者)	上下水道課	22,036,290	22,036,290	感染症の影響を受けている町内事業者の後押しが図られ、町の経済活動の下支えに寄与した。
医療体制強化支援補助金 (発熱外来対応分)	町内2か所の医療機関に対して、発熱外来を継続して設置するために係る費用の補助を行った。 〇プレハブリース代、医師等報酬、診療用設備、駐車場除雪費等	保健福祉課	14,684,000	14,684,000	コロナ禍において、発熱外来を実施する診療体制が確保されたことにより、地域医療が強化された。
医療機関等感染予防対策支援金	町内の医療機関に対してクラスターの発生を未然に防ぎ、医療を継続的に提供する体制を維持するために衛生用品の購入費用等を支援した。 〇医科医療機関 50万円×6か所 10万円×1か所 〇歯科医療機関 50万円×6か所	保健福祉課	6,100,000	6,100,000	コロナ禍においても、診療体制が確保されたことにより、地域医療が維持された。
当別町介護及び障害者支援施設等感染予防対策臨時支援金	介護サービス及び障害福祉サービス事業所等におけるクラスターの発生を未然に防ぐため、運営する法人に対し、マスク、手指消毒薬等の衛生用品の購入や、自主的にPCR検査を実施する際の費用を支援する。 〇1～2事業所:500千円×7法人、3～4事業所:750千円×6法人、5事業所以上:1,000千円×3法人 (合計16法人53事業所)	介護課	11,000,000	11,000,000	コロナ禍においても、サービス体制が確保されたことにより、地域の介護・障害福祉サービスが維持された。
地域子ども・子育て支援事業	事業所等が感染症対策を図りながら事業を継続していくため、必要な消耗品、備品等の購入を行う。 〇対象事業 子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、子どもプレイハウス、延長保育事業、一時預かり事業(消耗品:各事業でマスク・手指消毒薬等購入、備品:ファミリーサポートセンターで加湿空気清浄機1台)	子ども未来課	2,897,238	965,238	事業所における感染症対策を図ることで、利用児童や職員の安全が図られ、感染拡大防止に寄与した。
庁舎等公共施設感染症対策	公共施設における感染症対策として、消耗品(各事業でマスク・手指消毒薬等)の購入、庁舎及び町有施設の換気対策修繕、町内会館各種換気対策修繕 8会館の整備を行った。	財政課	2,071,212	2,071,212	不特定多数の方が利用する公共施設の感染拡大防止に寄与した。
庁舎等公共施設感染症対策	公共施設における感染症対策として、議場の議席間隔確保に対応した放送設備を整備した。	議会事務局	955,878	955,878	公共施設の感染拡大防止に寄与した。
庁舎等公共施設感染症対策	公共施設における感染症対策として、道の駅来客者啓発用放送設備を整備した。	産業振興課	1,210,000	1,210,000	不特定多数の方が利用する公共施設の感染拡大防止に寄与した。
庁舎等公共施設感染症対策	公共施設における感染症対策として、西当別中学校温水パネルヒーターの改修を行った。	学校教育課	4,290,000	4,290,000	コロナ禍における学校教育活動の継続を支援した。
スクールバス運行事業感染症対策	スクールバス内の3密を避けるため、1台から2台運行への変更等による対応を行った。	学校教育課	12,849,000	12,849,000	スクールバス内の3密を避け、コロナ禍における児童の登下校に寄与した。
感染症対策等学校教育活動継続支援事業	学校活動を継続し、児童生徒の学びの保障するため、各学校における消毒液や感染症予防の消耗品・備品等の購入経費を支援した。 〇4校分	学校教育課	3,200,000	1,600,000	感染対策用品の整備を充実させることで、学校内での感染症拡大防止に寄与した。
事業者特別支援金	4月以降、まん延防止等重点措置や緊急事態措置に伴う北海道の要請などにより、休業・時短等に協力した飲食店の取引先や外出・往来自粛等による影響を受けた事業者に対する国及び道の支援に対する上乗せ及び町独自の支援を行った。 51件 令和3年4月以降 ① 売上が50%以上減少した事業者 15件 国より法人上限20万円/月 個人上限10万円/月(月次支援金) 当別町特別支援金(上乗せ) 法人20万円、個人10万円) ② 売上が30%以上50%未満減少した事業者 10件 道より法人上限10万円/月 個人上限5万円/月(道支援金B・C) 当別町特別支援金(上乗せ) 法人20万円、個人10万円) ③ 売上が20%以上30%未満減少した事業者 26件 当別町特別支援金(町単独) 法人20万円 個人10万円)	産業振興課	8,200,000	4,546,513	休業要請等に協力した事業者に対し支援金を給付することで、事業継続の一助となった。
大規模施設感染防止対策等支援事業	大規模(300㎡以上)な飲食事業者及び宿泊事業者が実施する感染防止対策の強化やポストコロナを見据えた前向きな取り組みに対する支援を行った。 (50万円×10事業者)	産業振興課	5,000,000	5,000,000	長引くコロナ禍にあって低迷する経済活動を後押しし、地域経済の下支えが図られた。